

2025年5月20日

2025年日本国際博覧会協会

会長 十倉 雅和様

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>

〒536-0008 大阪市城東区関目 6-4-2-103

山川よしやす(事務局長)

電話090-8536-3170

「いのち輝く」とは名ばかりのいのち翳(かげ)る万博！ 西ゲート内外2か所 喫煙所設置に抗議し、救急医療体制の拡充を要請する

* 頻発する高濃度のメタンガス検知と爆発火災事故の危険性

5月6日、また西ゲート付近でメタンガスが検知されました。その前はテストランの最中の4月6日、寺本けんた守口市議会議員が、やはり西ゲート前トイレ付近のマンホールから爆発危険濃度のメタンを検知しました。

西ゲートの外、第1ターミナル、第2ターミナル(ここは観光バスで来た子どもたちが降車する場所です)付近でも、人が多く行きかっているにもかかわらず多数のガス抜き管があります。第2ターミナルでは、今年の3月に16本中6本のガス抜き管で、爆発危険濃度を超すメタンガスが検知されています。

また西ゲート前のトイレでは、昨年3月に工事中にメタンガスに引火して爆発火災事故が発生。けが人はいなかったが、床など約100平方メートルを損傷し、天井まで破砕物が飛び散り、地下ピットの鉄製扉がひん曲がる重大事故でした。

* 夢洲はどこからでもメタンガスが発生する

4月15日、参院環境委員会でのメタンガス発生事故についての質疑応答です。夢洲の埋め立てについて、環境省が以下、回答しています。

夢洲の埋め立て開始は1977年。1区(GW地区)は産業廃棄物、一般廃棄物、2区は浚渫土砂、建設残土によって埋立。1区からのメタンガス発生は周知であるが、2区も浚渫汚泥、建設残土にも有機物が含まれ、これが分解されることでメタンガスが発生するが、発生量の予測は困難。1区は現在でも埋立が続行し、産廃処分場としての役割は終了していません。

* 喫煙所の設置と営業店舗などでのプロパンガス使用をやめること

万博協会は東ゲートの外に喫煙所を既に2か所設置していますが、さらにパーティションで囲まれた屋外型の喫煙所を西ゲート内外に2か所設置するとしています。この喫煙所では上はガラ空き状態でメタンガスも侵入可能ですので、設置をただちに中止すべきです。

またすでに1区のフードコート等ではプロパンガス使用を許可していることが確認されました。万博協会は、言訳のように業者などにガス検知器172台を配り、専門的知識もない者に検査の協力を求めています。異常事態です。これでは安全の確保などできません。

開会前は脱炭素、SDGsと高唱し、開会してしまえばなし崩しに営利に走り、生命・安全は二の次、まさに「いのち翳る」万博です。

* 救急医療体制の緊急かつ十分な整備を求める

開幕以来15日間で、51人の入場者が救急搬送。救急搬送後死亡1名、熱中症1名。

会場内には、医師・看護師が配置された診療所が3か所、看護師のみが配置された応急手当所が5か所設置ですが、これで十分でしょうか？

また搬送された人の性別、年齢(何歳代)、搬送理由の病態(大まかに、循環器系などの臓器別とか熱中症とか)等の公表を求めます。救急医療体制の緊急かつ十分な整備を求めます。

以上の抗議、及び要請について、5月30日までに文書で回答してください。